

○村田知歌子・遠藤修一（滋賀大・教育）

### 1. 研究目的

滋賀や近畿の環境を語るとき、びわ湖は欠かせない存在であり、びわ湖を知ることが環境問題を考える上で非常に重要な意味を持つと考えられる。そのためには、実際に自らがびわ湖に触れることが最良の方法であるが、時間的・場所的制約があり、なかなか実現できないという問題がある。そこで、びわ湖の環境や調査の様子を紹介するビデオ教材が、びわ湖学習の導入やびわ湖への関心を高めるための重要な手段になるのではないかと考えた。本研究では、主として2008年度「湖沼学実習」の映像をもとに、びわ湖学習をより深めるための教材として活用できるビデオ教材の企画、作成とその使用を提案する。

### 2. 湖沼学実習について

「湖沼学実習」は、本学が50年余にわたり開講している夏季集中授業で、びわ湖をフィールドとした調査艇による湖沼環境調査実習である。4泊5日の合宿形式で、日中は調査艇に乗船して、びわ湖の水質、プランクトン、底質、気象、湖流等の調査を行い、湖北町尾上に帰港後にデータ整理、観測報告を行っている。また、2006～2008年の3年間、本授業は文部科学省の「特色ある大学教育支援プログラム(特色GP)『びわ湖から学ぶ環境マインド』」の一部として実施されており、学生の環境意識を高める重要な活動と位置づけられている。

### 3. ビデオ教材の作成方法

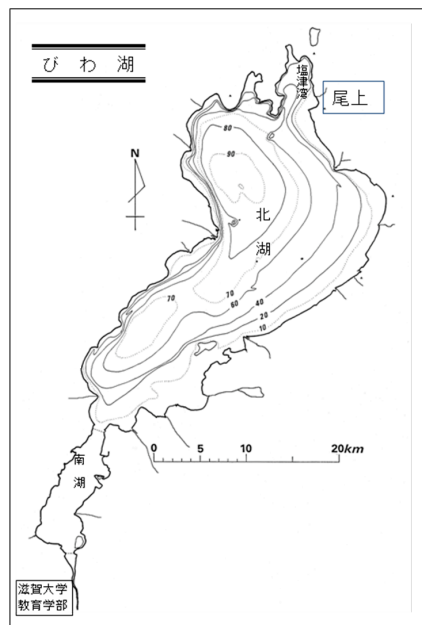
2008年度に実施された「湖沼学実習」で撮影したビデオ映像や写真に加え、過去のびわ湖の写真を使用した。映像の撮影には、2台のハイビジョン・デジタルビデオカメラを用いた。また、地図や各観測データ、受講生の感想等を編集した後に取り込んで活用した。そして、映像ごとに適切なタイトルや解説、BGMを加えた上でビデオ教材を作成した。使用したビデオ編集ソフトは、Corel VideoStudio 12である。

### 4. ビデオ教材の内容

作成したビデオ教材は、『<sup>いま</sup>びわ湖の現実を探る』というタイトルで約20分の作品である。

本教材は以下の内容で構成されている。

- ・びわ湖の概要
- ・びわ湖の環境問題
- ・地図
- ・びわ湖の風景（映像・写真）



- ・湖沼学実習の風景
- ・観測内容の説明
- ・観測データ
- ・受講生の感想

本教材を視聴すれば、びわ湖や湖沼学実習の様子をイメージできる内容になっている。

## 5. ビデオ教材の使用方法的提案

作成したビデオ教材の使用方法的には、

- ①びわ湖学習における導入や参考資料としての活用
- ②ホームページへの掲載
- ③湖沼学実習の学習補助者に対する事前学習教材

が考えられる。

いずれの場合も学習者が本教材を視聴することで、びわ湖への興味と理解が深まることを期待する。

## 6. おわりに

本教材はびわ湖学習の導入に適する内容で構成されており、必要十分なびわ湖環境の解説ビデオにはなっていない。そのため、指導者側が目的意識をもって、事前の教材研究や教材提示の工夫をする必要がある。また、本研究では、ビデオ教材の作成と使用の提案をおこなったが、今後は本教材が様々な教育現場で使用された上で学習者・指導者双方の意見を取り入れて、より理解を深めることができるビデオ教材に改良する必要があると考えている。



ビデオ教材の一場面 (VTR より抜粋)